

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県北名古屋市

自治体名：愛知県北名古屋市

担当課名：教育委員会学校教育課

電話番号：0568-22-1111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	18km ²
人口	86,061人
公立中学校数	6校
公立中学校生徒数	2,358人
部活動数 (運動部活動のみ)	49部活
地域クラブ活動数	9クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

北名古屋市の中学校部活動は、一部で部活動指導員を活用しながら、本市作成の部活動指導ガイドラインに沿った活動をしている。学校の働き方改革の必要性を理解し、部活動の地域移行について検討しているものの、人材確保と財源確保に苦慮している。これらの課題について取組む中核となる人材を教育委員会に置き、学校と地域との意見を聴取しながら課題を整理し、本市に即した地域移行の展開を図っている。

令和5年度から、地域スポーツクラブ活動体制整備事業に参加し、地域移行を進める中核となる人材を令和5年4月から新たに市で雇用し、部活動総括コーディネーターとして配置した。そし

て、令和5年10月から6ヶ月間、2つの実証事業を実施しその成果を検証した。また、「北名古屋市立中学校部活動検討委員会」を年2回開催し、部活動の地域移行に関する議論を重ねるとともに、市内中学校2年生と部活動顧問全員を対象に意識アンケート調査を行い、今後の方向性を検討した。

令和6年度は、令和5年度の実証事業を踏まえ、市からの予算を計上しない「公募」という形で事業を進めた。

令和7年度も令和6年度と同様に継続して実証事業を進め、すべての部活動の種目において実証事業が展開できるように配慮した。



令和7年度実証事業（中学生卓球クラブ）

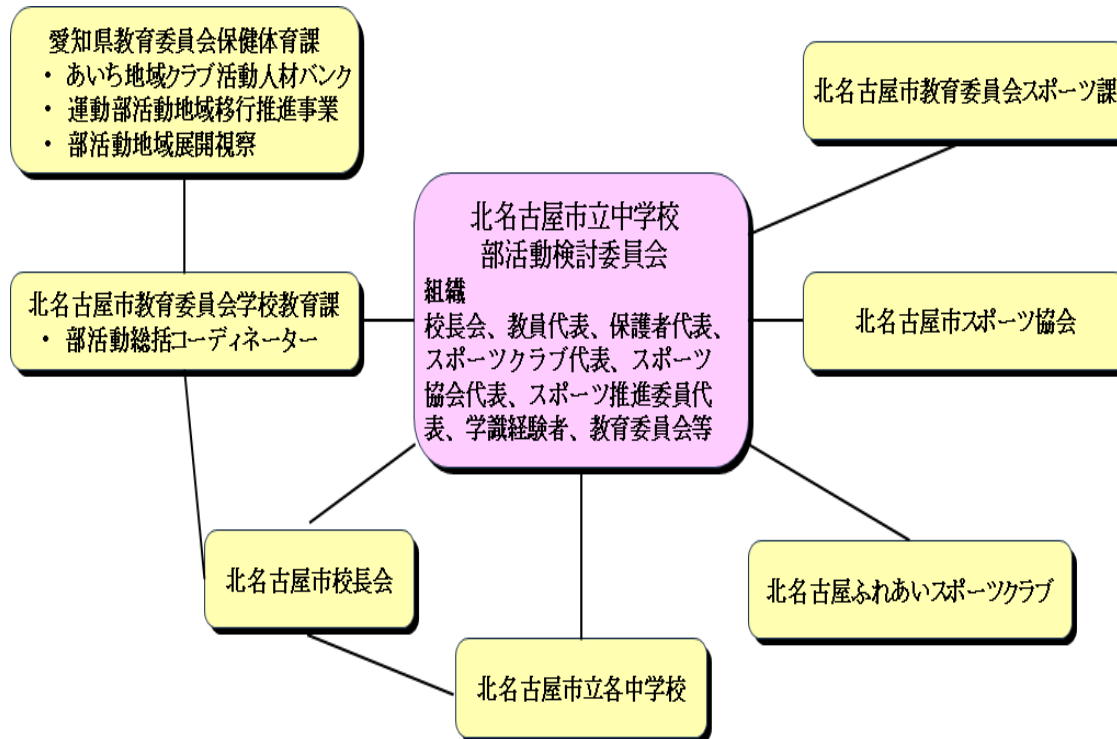


令和7年度実証事業（アバンソ）

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

- ◎ 教育委員会・コーディネーター（学校教育課）
 - ・ 事務局
 - ・ 実証事業の推進（「公募」による活動団体の採択、活動場所の確保等）
 - ・ 実証事業の検証

年間の事業スケジュール

令和7年1月 令和7年2月 令和7年4月	令和7年度中学校部活動地域展開実証事業「1月公募」の開始 「1月公募」の採択団体の決定 「1月公募」の実証事業の開始
令和7年5月 令和7年6月 令和7年7月 令和7年8月 令和7年12月 令和8年1月	第1回部活動検討委員会 「6月公募」の開始 「6月公募」の採択団体の決定 「6月公募」の実証事業の開始 実証事業の検証・アンケート
令和8年2月 令和8年2月 令和8年3月	第2回部活検討委員会 市内全中学生、及びその保護者、指導者への意識アンケート 中学校2年生、小学校6年生を対象に、実証事業の種目別チラシ（募集案内）を配布

令和7年度 地域展開の方針について

令和7年度 北名古屋市中学校部活動地域展開の方針について

- 令和7年度より、休日の部活動を月2回
- 各月第1、3、5土日を中学校の部活動の活動日
- 各月第2、4土日を地域クラブの活動日

令和7年度 北名古屋市中学校部活動地域展開実証事業について

- スポーツや文化活動団体を母体とした団体
- 地域での活動場所の確保
- 持続可能な事業
- 地域移行に関わる活動団体の公募

令和7年度 地域展開の方針について

令和7年度 北名古屋市中学校部活動地域展開実証事業活動団体の公募について

- スポーツや文化活動の機会を提供する団体
 - 企画・提案を募集する
- 市からの補助金はなし
 - 受益者負担で会費を徴収
- 使用施設
 - 教育委員会が優先的に無償で提供
- 応募方法
 - 各団体がチラシ（応募方法）を作成 → 学校から生徒に電子媒体で配付 → 生徒自身が直接申し込む
- 令和7年1月と6月に募集
 - 応募数12件中、12件採択（スポーツクラブは9件中、9件採択）

2.実証内容と成果

令和7年度 実証事業について

令和7年度 北名古屋市立中学校部活動地域展開に係る活動団体（運動クラブ）一覧

No.	団体名	活動日	活動時間	活動場所	対象者	会費等	登録者数
1	北名古屋市剣道連盟（剣道）	毎月1回 日曜	9:00～12:00	訓原中	全中学校	年会費3000円、 スポーツ保険代800円を含む	6
2	東スポーツクラブ（剣道）	毎週土曜	13:15～15:00	市総合 体育館	全中学校	月会費500円の年会費制＋ スポーツ保険代800円	3
3	一般社団法人 AVANCO （サッカー）	毎月 第2土曜	9:00～11:00	訓原中	全中学校	1回1000円＋ スポーツ保険代800円	32
4	きたなごやジュニアスポーツクラブ （バスケットボール）	毎月 第2、4日曜	8:30～11:30	白木中	旧西春町 の中学校	1回500円＋ スポーツ保険代800円	7
5	中学生卓球クラブ（卓球）	毎週 日・月・木曜	平日18:00～20:00 日曜13:00～16:00	天神中	旧西春町 の中学校	月会費500円＋ スポーツ保険代800円	16
6	北名古屋ソフトテニスクラブ （ソフトテニス）	毎月1～2回 土or日曜	10:00～12:00	熊野中	全中学校	3ヶ月会費1200円＋ スポーツ保険代800円	31
7	スタジオオルカバスケットボールクラブ （バスケットボール）	毎月3回 女子：月曜 男子：火曜	女子19:00～21:00 男子18:30～21:00	スタジオ オルカ	全中学校	月会費1980円＋ スポーツ保険代1000円	5
8	軟式野球クラブ（軟式野球）	毎月1～2回 日曜	9:00～12:00	白木中	全中学校	年会費1500円＋ スポーツ保険代800円	16
9	中学生SKK卓球クラブ（卓球）	毎月 第2、4土日曜	土日曜 9:00～12:00	師勝中	旧師勝町 の中学校	1回500円＋年会費1000円、 スポーツ保険代800円を含む	17

令和7年度 実証事業

① 北名古屋市剣道連盟

ア 企画・提案内容

団 体 名	北名古屋市剣道連盟
種 目	剣道
活 動 日	毎月 1 回日曜日
活 動 時 間	9:00～12:00
活 動 場 所	訓原中学校体育館フロアー、武道場
登 録 人 数	6 名
指 導 者 数	2 名
会 費 等	年会費 3,000 円（スポーツ保険代 800 円を含む）

2.実証内容と成果

令和7年度 実証事業について

令和7年度 実証事業

イ 実績（令和7年12月まで9回開催）

日 時	4/27 (日)	5/11 (日)	6/8 (日)	7/20 (日)	8/10 (日)	9/28 (日)	10/12 (日)
活動時間	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00
参加 生徒数	5	0	5	1	3	0	0
指導者数	1	1	1	1	1	1	1

日 時	11/9 (日)	12/14 (日)
活動時間	9:00 12:00	9:00 12:00
参加 生徒数	0	3
指導者数	1	1

4月から12月まで9回開催



令和7年度 実証事業

② 東スポーツクラブ

ア 企画・提案内容

団 体 名	東スポーツクラブ
種 目	剣道
活 動 日	毎週土曜日
活 動 時 間	13:15～15:00
活 動 場 所	北名古屋市総合体育館剣道場
登 録 人 数	2 名
指 導 者 数	3 名
会 費 等	月会費 500 円の年会費制＋スポーツ保険代 800 円

2.実証内容と成果

令和7年度 実証事業について

令和7年度 実証事業

イ 実績（令和7年12月まで33回開催）

日 時	4/12 (土)	4/19 (土)	4/26 (土)	5/10 (土)	5/17 (土)	5/24 (土)	5/31 (土)
活動時間	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00
参 加 生 徒 数	1	0	1	0	1	0	0
指 導 者 数	2	2	2	2	2	1	2

日 時	6/7 (土)	6/14 (土)	6/21 (土)	6/28 (土)	7/5 (土)	7/12 (土)	7/19 (土)
活動時間	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00
参 加 生 徒 数	0	2	1	2	0	4	0
指 導 者 数	2	2	2	2	2	2	2

日 時	7/26 (土)	8/2 (土)	8/9 (土)	8/30 (土)	9/4 (土)	9/11 (土)	9/18 (土)
活動時間	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00
参 加 生 徒 数	2	5	4	1	2	0	3
指 導 者 数	2	2	2	2	2	0	2

日 時	10/4 (土)	10/11 (土)	10/18 (土)	10/25 (土)	11/1 (土)	11/8 (土)	11/15 (土)
活動時間	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00
参 加 生 徒 数	2	0	3	2	0	0	0
指 導 者 数	2	0	2	2	0	0	0

日 時	11/22 (土)	11/29 (土)	12/6 (土)	12/13 (土)	12/20 (土)
活動時間	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00	13:15 15:00
参 加 生 徒 数	2	0	3	0	0
指 導 者 数	2	0	2	0	0

4月から12月まで
33回開催



令和7年度 実証事業

③ 一般社団法人 AVANCO（アバンソ）

ア 企画・提案内容

団 体 名	一般社団法人 AVANCO（アバンソ）
種 目	サッカー
活 動 日	毎月第 2、4 土曜日（第 2 土曜日は訓原中学生徒のみ）
活 動 時 間	9:00～11:00
活 動 場 所	訓原中学校グラウンド
登 録 人 数	33 名
指 導 者 数	2 名
会 費 等	1 回 1,000 円＋スポーツ保険代 800 円＋入会金 2,000 円

2.実証内容と成果

令和7年度 実証事業について

令和7年度 実証事業

イ 実績（令和7年12月まで18回開催）

日 時	4/5 (土)	4/27 (日)	5/10 (土)	5/24 (土)	6/14 (土)	6/22 (日)	7/19 (土)
活動時間	9:00 11:00	9:00 11:00	9:00 11:00	9:00 11:00	9:00 11:00	9:00 11:00	9:00 11:00
参加生徒数	20	30	20	33	20	27	13
指導者数	1	1	1	2	1	1	1

日 時	7/20 (日)	8/9 (土)	8/23 (土)	9/13 (土)	9/27 (土)	10/12 (土)	10/25 (土)
活動時間	9:00 11:00	9:00 11:00	9:00 11:00	9:00 11:00	9:00 11:00	9:00 11:00	9:00 11:00
参加生徒数	24	12	20	12	23	13	23
指導者数	1	1	1	1	1	1	1

日 時	11/8 (土)	11/15 (土)	12/22 (月)	12/27 (土)
活動時間	9:00 11:00	9:00 11:00	18:00 20:00	9:00 11:00
参加生徒数	13	16	21	10
指導者数	1	1	1	1

4月から12月まで18回開催



令和7年度 実証事業

④ きたなごやジュニアスポーツクラブ

ア 企画・提案内容

団 体 名	きたなごやジュニアスポーツクラブ
種 目	バスケットボール
活 動 日	毎月第2、4日曜日
活 動 時 間	8:30～11:30
活 動 場 所	白木中学校体育館
登 録 人 数	7 名
指 導 者 数	1 名
会 費 等	1 回 500 円+スポーツ保険代 800 円

2.実証内容と成果

令和7年度 実証事業について

令和7年度 実証事業

イ 実績（令和7年12月まで12回開催）

日 時	4/6 (日)	4/27 (日)	5/11 (日)	6/8 (日)	6/15 (日)	7/20 (日)	7/27 (日)
活動時間	8:30 11:30	8:30 11:30	8:30 11:30	8:30 11:30	8:30 11:30	8:30 11:30	8:30 11:30
参加 生徒数	4	5	6	6	6	7	3
指導者数	1	1	1	1	1	1	1

日 時	8/10 (日)	8/24 (日)	9/14 (日)	9/28 (日)	10/12 (日)	10/26 (日)	11/9 (日)
活動時間	8:30 11:30	8:30 11:30	8:30 11:30	8:30 11:30	8:30 11:30	8:30 11:30	8:30 11:30
参加 生徒数	7	4	6	0	6	中止	中止
指導者数	1	1	1	1	1		

日 時	12/14 (日)	12/28 (日)
活動時間	8:30 11:30	8:30 11:30
参加 生徒数	中止	中止
指導者数		

4月から12月まで
12回開催



令和7年度 実証事業

⑤ 中学生卓球クラブ

ア 企画・提案内容

団 体 名	中学生卓球クラブ
種 目	卓球
活 動 日	毎週日・月・木曜
活 動 時 間	平日 18:00～20:00、日曜 13:00～16:00
活 動 場 所	天神中学校武道場
登 録 人 数	16 名
指 導 者 数	3 名
会 費 等	月会費 1,000 円＋スポーツ保険代 800 円

2.実証内容と成果

令和7年度 実証事業について

令和7年度 実証事業

イ 実績（令和7年12月まで99回開催）

日 時	4/3 (木)	4/5 (土)	4/7 (月)	4/13 (日)	4/14 (月)	4/17 (木)	4/20 (日)
活動時間	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00
参 加 生 徒 数	7	14	5	13	7	7	10
指 導 者 数	2	2	1	2	1	1	2
日 時	4/21 (月)	4/24 (木)	4/27 (日)	4/28 (月)	5/4 (日)	5/5 (月)	5/8 (木)
活動時間	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00
参 加 生 徒 数	6	5	14	5	6	4	7
指 導 者 数	2	2	2	1	2	2	3
日 時	5/10 (土)	5/12 (月)	5/15 (木)	5/19 (日)	5/22 (木)	5/24 (土)	5/26 (月)
活動時間	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00
参 加 生 徒 数	14	4	4	6	3	6	4
指 導 者 数	3	1	2	1	2	2	2
日 時	5/29 (木)	6/1 (日)	6/2 (月)	6/5 (木)	6/8 (日)	6/9 (月)	6/12 (木)
活動時間	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00
参 加 生 徒 数	8	11	7	8	9	4	4
指 導 者 数	3	1	2	3	1	1	3
日 時	6/14 (土)	6/23 (月)	6/26 (木)	6/30 (日)	7/3 (木)	7/5 (土)	7/7 (月)
活動時間	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00
参 加 生 徒 数	8	2	6	8	12	5	6
指 導 者 数	2	1	2	2	2	2	2

4月から12月まで99回開催

日 時	7/10 (木)	7/13 (日)	7/14 (月)	7/17 (木)	7/19 (土)	7/21 (月)	7/24 (木)
活動時間	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00
参 加 生 徒 数	10	8	11	2	7	10	8
指 導 者 数	2	2	1	2	2	2	2
日 時	7/26 (土)	7/28 (月)	7/30 (木)	8/2 (土)	8/4 (月)	8/7 (木)	8/9 (土)
活動時間	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00
参 加 生 徒 数	12	7	8	13	8	11	16
指 導 者 数	3	2	2	3	2	2	3
日 時	8/11 (月)	8/16 (土)	8/18 (月)	8/21 (木)	8/23 (土)	8/25 (月)	8/28 (木)
活動時間	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00
参 加 生 徒 数	7	8	8	13	16	7	11
指 導 者 数	1	3	2	2	3	2	2
日 時	8/30 (土)	9/1 (月)	9/4 (木)	9/8 (月)	9/11 (木)	9/14 (日)	9/15 (月)
活動時間	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00
参 加 生 徒 数	10	8	13	12	12	18	9
指 導 者 数	2	2	3	2	2	3	3
日 時	9/18 (木)	9/21 (日)	9/22 (月)	9/25 (木)	9/28 (日)	9/29 (月)	10/2 (木)
活動時間	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00
参 加 生 徒 数	8	12	4	5	18	8	8
指 導 者 数	2	3	1	2	3	2	2

日 時	10/5 (日)	10/6 (月)	10/9 (木)	10/12 (日)	10/13 (月)	10/16 (木)	10/19 (日)
活動時間	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00
参 加 生 徒 数	8	8	9	19	7	10	16
指 導 者 数	1	2	2	2	2	2	2

日 時	10/20 (月)	10/23 (木)	10/25 (土)	10/27 (月)	11/2 (日)	11/3 (月)	11/6 (木)
活動時間	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00
参 加 生 徒 数	10	11	13	13	14	7	7
指 導 者 数	1	2	2	2	1	1	1

日 時	11/20 (木)	11/23 (日)	11/24 (月)	11/27 (木)	11/30 (日)	12/1 (月)	12/4 (木)
活動時間	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00
参 加 生 徒 数	9	14	6	10	16	6	9
指 導 者 数	1	2	2	2	2	1	1

日 時	12/11 (木)	12/13 (土)	12/14 (日)	12/15 (月)	12/18 (木)	12/22 (月)	12/25 (木)
活動時間	18:00 20:00	13:00 16:00	13:00 16:00	18:00 20:00	18:00 20:00	18:00 20:00	18:00 20:00
参 加 生 徒 数	8	13	14	10	11	9	6
指 導 者 数	1	2	2	1	2	2	2

日 時	12/27 (土)
活動時間	13:00 16:00
参 加 生 徒 数	19
指 導 者 数	3

令和7年度 実証事業について

令和7年度 実証事業



令和7年度 実証事業

⑥ 北名古屋ソフトテニスクラブ

ア 企画・提案内容

団 体 名	北名古屋ソフトテニスクラブ
種 目	ソフトテニス
活 動 日	毎月1～2回日曜日
活 動 時 間	10:00～12:00
活 動 場 所	熊野中学校テニスコート
登 録 人 数	31 名
指 導 者 数	10 名
会 費 等	3ヶ月会費 1,000 円＋スポーツ保険代 800 円

2.実証内容と成果

令和7年度 実証事業について

令和7年度 実証事業

イ 実績（令和7年12月まで9回開催）

日 時	4/27 (日)	5/11 (日)	6/8 (日)	7/20 (日)	8/10 (日)	9/28 (日)	10/12 (日)
活動時間	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00
参加 生徒数	5	0	5	1	3	0	0
指導者数	1	1	1	1	1	1	1

日 時	11/9 (日)	12/14 (日)	1/11 (日)	2/22 (日)	3/8 (日)
活動時間	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00
参加 生徒数	0	3			
指導者数	1	1			

4月から12月まで9回開催



令和7年度 実証事業

⑦ スタジオオルカバスケットボールクラブ

ア 企画・提案内容

団 体 名	スタジオオルカバスケットボールクラブ
種 目	バスケットボール
活 動 日	年間 38 回 月曜日
活 動 時 間	女子：19:00～21:00 男子：18:30～21:00
活 動 場 所	スタジオオルカ
登 録 人 数	5 名
指 導 者 数	1 名
会 費 等	月会費 1,980 円+スポーツ保険代 1,000 円

2.実証内容と成果

令和7年度 実証事業について

令和7年度 実証事業

4月から12月まで12回開催

イ 実績（令和7年12月まで29回開催）

日 時	4/7 (月)	4/8 (火)	4/15 (月)	4/22 (月)	4/29 (月)	5/12 (月)	5/19 (月)
活動時間	18:30 21:00	19:00 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00
参加 生徒数	2	3	2	2	2	2	2
指導者数	1	1	1	1	1	1	1

日 時	5/26 (月)	6/2 (月)	6/9 (月)	6/16 (月)	6/23 (月)	7/7 (月)	7/14 (月)
活動時間	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00
参加 生徒数	2	2	3	4	3	2	2
指導者数	1	1	1	1	1	1	1

日 時	8/18 (月)	8/25 (月)	9/1 (月)	9/8 (月)	9/22 (月)	9/29 (月)	10/6 (月)
活動時間	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00
参加 生徒数	5	4	5	4	4	8	3
指導者数	1	1	1	1	1	1	1

日 時	10/20 (月)	10/27 (月)	11/11 (月)	11/17 (月)	12/1 (月)	12/8 (月)	12/15 (月)	12/22 (月)
活動時間	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00	18:30 21:00
参加 生徒数	5	3	1	1	4	6	5	3
指導者数	1	1	1	1	1	1	1	1



令和7年度 実証事業

⑧ 軟式野球クラブ

ア 企画・提案内容

団 体 名	軟式野球クラブ
種 目	軟式野球
活 動 日	毎月 1～2 回日曜日
活 動 時 間	9:00～12:00
活 動 場 所	白木中学校グラウンド
登 録 人 数	16 名
指 導 者 数	8 名
会 費 等	年会費 1,500 円＋スポーツ保険代 800 円

2.実証内容と成果

令和7年度 実証事業について

令和7年度 実証事業

イ 実績（令和7年12月まで7回開催）

日 時	4/27 (日)	5/11 (日)	5/25 (日)	6/8 (日)	6/22 (日)	9/14 (日)	9/28 (日)
活動時間	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00
参加 生徒数	11	13	14	15	10	13	9
指導者数	6	6	5	8	7	5	3

日 時	10/12 (日)	10/26 (日)	11/9 (日)	11/16 (日)	12/14 (日)
活動時間	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00
参加 生徒数	中止	中止	中止	中止	中止
指導者数					

4月から12月まで7回開催



令和7年度 実証事業

⑨ 中学生S K K卓球クラブ

ア 企画・提案内容

団 体 名	中学生S K K卓球クラブ
種 目	卓球
活 動 日	毎月第2, 4土曜日、日曜日
活 動 時 間	9:00~12:00
活 動 場 所	師勝中学校武道場
登 録 人 数	16 名
指 導 者 数	1 名
会 費 等	1 回 500 円＋年会費 1,000 円（スポーツ保険代を含む）

2.実証内容と成果

令和7年度 実証事業について

令和7年度 実証事業

イ 実績（令和7年12月まで10回開催）

日 時	8/23 (土)	8/24 (日)	9/13 (土)	9/14 (日)	9/28 (日)	10/12 (日)	12/13 (土)
活動時間	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00
参加生徒数	14	12	10	14	12	9	12
指導者数	1	1	1	1	1	1	1

日 時	12/14 (日)	12/27 (土)	12/28 (日)
活動時間	9:00 12:00	9:00 12:00	9:00 12:00
参加生徒数	12	9	10
指導者数	1	1	1

4月から12月まで10回開催



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・ 教育委員会は、中学校長、保護者の代表者、学識経験者等で構成する北名古屋市立中学校部活動検討委員会を設置し、中学校部活動に係る今後の在り方等について検討する
- ・ 従来学校部活動で担ってきた生徒のスポーツ・文化芸術に親しむ機会を、地域から支える視点の重要性にも着目しつつ、地域クラブ活動の在り方や運営体制、活動内容等について指導助言する。
- ・ 部活動総括コーディネーターを配置し、学校や地域文化団体と調整・連絡を行う。

取組の成果

- ・ 6種目9団体が実証事業に参加した。
- ・ 登録生徒が少ない団体があったが、練習が制限されることはなかった。
- ・ アンケート結果より、参加した中学生は意欲的に取組、満足度も高かった。

今後の取組における課題

- ・ 「サッカー」団体の公募において、活動場所に社会教育施設（北名古屋市総合運動広場）を希望してきたが、本事業では小中学校の施設を活動場所としているため、実施できなかった。
- ・ 他の種目において、市体育協会等に協力を依頼したが、実証事業に参加する団体はなかった。

課題への対応方針

- ・ 市の施設開放関係者と協議し、社会教育施設を優先して利用できるような制度を構築していく。
- ・ 教育委員会が市体育協会や市スポーツ推進員の会議に参加し、実証事業の目的、方針を直接説明して理解していただく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・ 部活動総括コーディネーターを配置し、学校や地域文化団体と調整・連絡を行う。
 - 公募による団体の選定
 - 各団体のチラシ（生徒募集要項）の承認と各中学校への配信の依頼
 - 各団体の活動場所の確保
 - 各団体の月別活動報告の集約
 - 各団体の活動の様子を視察
 - 学校へ各団体の活動状況の報告

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- ・ 地域クラブ活動の指導者や参加者との連絡・調整する。
- ・ 参加者の出欠、活動の実施報告等の部活アプリの活用を推奨する。
- ・ 参加費の徴収について、現金の受け渡しではなく、口座引き落としやクレジット支払いを推奨する。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- ・ 運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材の確保等、持続可能な運営ができる組織体制の整備する。
- ・ 適切な指導のため、指導者に対し指導方法を伝える。
- ・ 公正かつ適切な会計処理等に向け、会計報告の実施を行う。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- ・ 活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応を含め、基本的には各団体が事故等が発生した場合管理責任を持って行う。
- ・ 事故が発生した場合は、各団体の代表者は速やかに部活動総括コーディネーターに連絡する。
- ・ 事故が発生した場合における保護者や関係機関等との適切な連絡調整は、各団体の代表者が部活動総括コーディネーターと行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- ・ 地域の団体との意見交換により受け皿となる担い手の掘り起こしを行う。
- ・ 愛知県指導者人材バンクを活用する。
- ・ 各団体の指導者に対して研修会の機会を確保し、。生徒の心身の健康管理、事故防止の徹底、暴言や体罰、行き過ぎた指導、ハラスメント等の行為を根絶する。
- ・ 中央競技団体又は部活動に関わる各分野の関係団体が作成した、部活動における合理的かつ効率的・効果的な活動のための指導手引きを活用して、指導を行う。なお、著作権についても指導者の理解を深める。

取組の成果

- ・ 北名古屋市教育委員会スポーツ課より、北名古屋市スポーツ協会や北名古屋市スポーツ推進員、ふれあいスポーツクラブに働きかけて、市内での指導者を確保した。

今後の取組における課題

- ・ 中学校にあるすべての部活動の種目に対して公募による実証事業を目指しているが、「バレーボール」「ソフトボール」の指導者が見つからない。
- ・ 各団体の指導者が、適切な指導及び安全・安心の確保の内容に準じ、適切な指導の実施に努めていることを、教育委員会がどのように把握するか。

課題への対応方針

- ・ 北名古屋市教育委員会スポーツ課より、北名古屋市スポーツ協会や北名古屋市ふれあいスポーツクラブ等に働きかけ、指導者の発掘に努めたい。
- ・ 専門的知見を有する保健体育担当者の教師や養護教諭等の協力を得て、発達の個人差や女子の成長期における体と心の状態等に関する正しい知識を習得し、発達段階やニーズに応じた多様な活動ができるようにする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- ・ 下記団体の代表者と協議し、公募による地域での活動機会の確保を模索する。
 - 北名古屋市スポーツ協会
 - 北名古屋市ふれあいスポーツクラブ
 - 北名古屋市スポーツ推進委員協議会
 - 北名古屋市社会教育関係団体
 - 名古屋芸術大学
 - 市内小中学校

取組の成果

- ・ 部活動統括コーディネーターが各団体の総会等に参加し、北名古屋市の中学校部活動地域展開実証事業について説明し、理解を深めてもらうとともに、協力を仰ぐことができた。

今後の取組における課題

- ・ 各団体に理解を求めることはできたが、「公募」までのハードルが高く、実証事業に繋げることができなかった。

課題への対応方針

- ・ 各団体にさらに理解を深めてもらい、「公募」できる人材を確保する。
- ・ 「公募」の妨げとなっている課題を追求し、ハードルを下げる工夫ができないか検討していく。

エ：面的・広域的な取組

取組事項

- ・ 「北名古屋市立中学校部活動検討委員会」を開催し、地域のスポーツクラブ等から聴取した意見を基に部活動の地域展開に向けた協議を行う。

取組の成果

- ・ 「北名古屋市立中学校部活動検討委員会」を年2回開催し、今後の中学校部活動の改革のロードマップを策定した。

今後の取組における課題

- ・ 「北名古屋市立中学校部活動検討委員会」において、委員として6中学校の保護者代表者に依頼しているが、委員会への参加率が50%と低い。

課題への対応方針

- ・ 各中学校に、委員会に参加できる保護者代表者を選出するように要請する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

オ：内容の充実

取組事項

- ・ 地域でスポーツ活動に親しむ機会の確保の充実に取組む。

取組の成果

- ・ サッカーの実証事業を実施している団体が来年度の参加者募集のため、6中学校のサッカー部員に対し、「体験会」を3月に開催した。
- ・ 「体験会」には、6中学校のすべてのサッカー部が参加し、81名の生徒が合同で練習を行った。

今後の取組における課題

- ・ サッカーの「体験会」は、市校長会中学校部会や各中学校のサッカー部顧問の理解を得て開催することができたが、他の種目においては実証事業を実施している団体の指導者と中学校顧問との調整が難しい。

課題への対応方針

- ・ サッカーの「体験会」をモデル事業とし、他の種目でも「体験会」が実施できるように働きかけていく。

カ：参加費用負担の支援等

取組事項

- ・ 各団体が受益者負担による運営費の確保に努める。
- ・ 生徒や保護者、地域住民等の理解を得つつ、活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な限り低廉な会費を設定する。

取組の成果

- ・ 会費に差はあるが、実証事業の各活動において受益者負担で運営することができた。
- ・ 実証事業に参加した中学生の会費の未納者はいなかった。

今後の取組における課題

- ・ 市からの補助金を使用することなく、各団体が活動を運営しているが、指導者への報酬が少なく、受益者負担額の値上げを検討していかなければならない。

課題への対応方針

- ・ 国、県の補助金を取り付けるため、令和9年度より補助金申請ができるように状況整備（市予算の確保等）を進めていく。
- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体は、『スポーツ団体ガバナンスコード＜一般スポーツ団体向け＞』に準拠し、公正かつ適切な会計処理を行い、組織運営に透明性を確保するため、関係者に対する情報開示を適切に行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

キ：学校施設の活用等

取組事項

- ・ 実証事業の活動場所は、学校の施設・設備を活用する。
- ・ 学校の施設・設備は、教育委員会が優先的に無償で実証事業団体に貸与する。

取組の成果

- ・ 実証事業では、中学校の運動場、体育館、武道場を活用した。消耗品以外は、該当中学校の備品を活用した。

今後の取組における課題

- ・ 活動にあたり必要な道具（消耗費）の費用が高額になる団体があり、どのように対処していくか、課題である。
- ・ 実証事業において、他の部活動の大会等と重なり、中学校敷地内で自動車駐車場や自転車置き場が煩雑になった。

課題への対応方針

- ・ 活動が軌道に乗るまで一時的に学校の消耗品（ボール等）を貸し出すことを検討していく。
- ・ 実証事業が行われる日に、他の部活動の大会がある場合は、該当の中学校の教頭より、部活動統括コーディネーターに連絡してもらい、連絡調整することにした。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- ・ 生徒アンケートより、実証事業に参加した感想は、100%の生徒が肯定的な意見であった。また、令和8年度の実証事業に参加したいと答えた生徒は98%であった。
- ・ 保護者アンケートより、実証事業の取組については、90%の保護者が肯定的な意見であった。しかし、中学校部活動の顧問との連携が取れていなかったためトラブルが発生したこと、地域によって練習量や指導者に差が出ることを不安に思っていること、今までの中学校部活動の在り方を継続してほしいと考えている保護者がいることがわかり、中学校部活動の地域展開に対し十分な理解が得られていないと感じられた。受益者負担額については、90%の保護者が妥当、もしくは安価であったと答えており、概ね理解を得ていると考えられる。
- ・ 指導者アンケートより、実証事業に参加して生徒の成長に喜びを感じている指導者が多くいるものの、生徒との人間関係を構築することに苦労している指導者も多くいることがわかった。また、ボランティアなのか、謝金をもらう事業なのか、について十分に理解していない指導者がいることがわかった。報酬額についても様々な意見があり、経済的に受益者負担の支払いができない家庭の問題も含め、今後、事務局として整理していかなければならない課題であると感じた。今後の指導の継続については、約90%の指導者が続けたいと回答している。

●成果の評価

- ・ 今年度の実証事業は、生徒・保護者・指導者のいずれにおいても概ね肯定的に受け止められており、地域における新たな部活動の在り方を検討するうえで有効な取組であったと評価できる。特に生徒にとって充実した活動機会となり、成長や意欲の向上につながったことがうかがえる。
- ・ 事象事業に参加する団体が毎年少しずつ増えてきており、中学校部活動の全種目に活動できるまでに1種目となった。

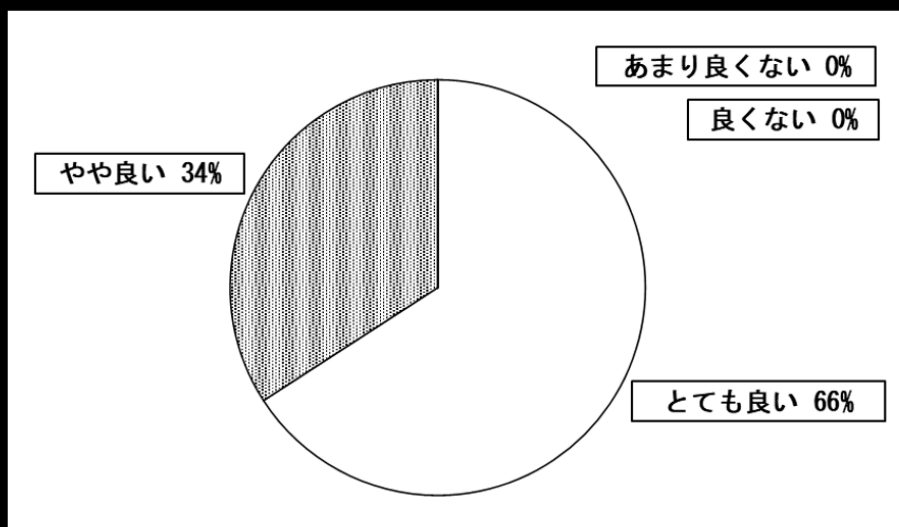
●今後に向けて

- ・ 今年度の実証事業において、学校との連携体制の強化、地域間の指導体制の平準化、事業の目的や運営方法に関する理解促進等、今後の制度設計や運営改善に向けた課題も明確になった。これらの課題を踏まえ、より持続可能で円滑な地域展開の実現に向けて取組を進めていく必要がある。
- ・ 中学校部活動の全種目において活動できるよう環境整備を行っていく。
- ・ 市内の東西の場所でそれぞれ活動できるように、それぞれの種目で2団体が活動することを目標とする。

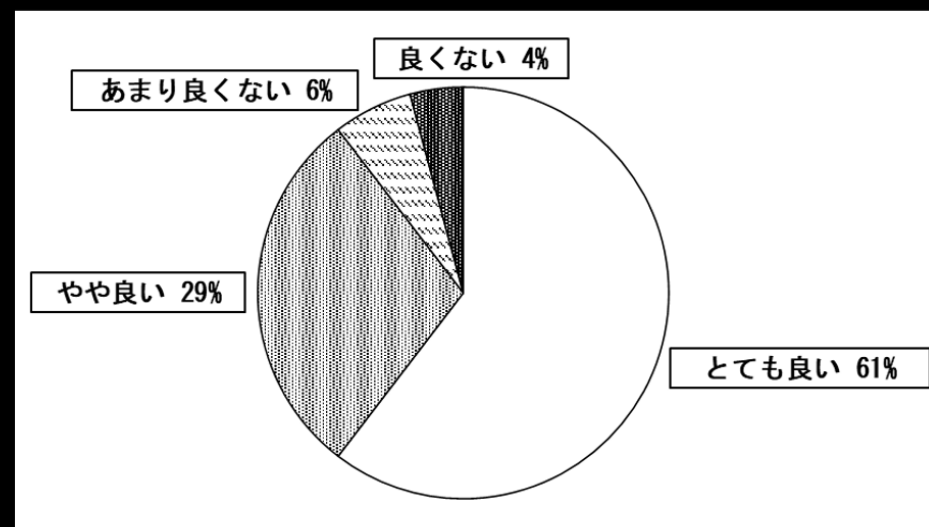
令和7年度 実証事業アンケート結果について

令和7年度 実証事業の成果（アンケート結果）

○ 実証事業の取り組みについて



生徒

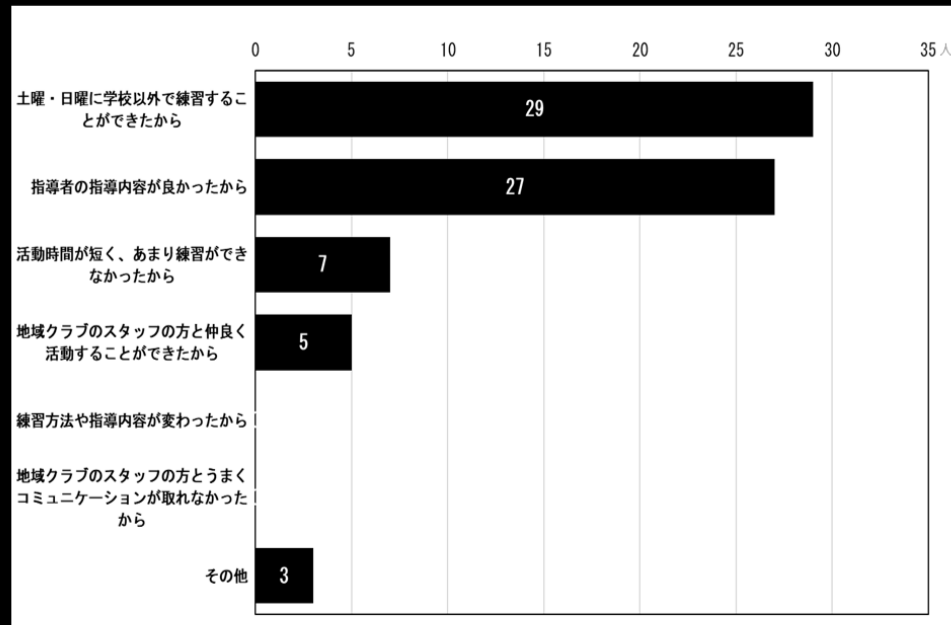


保護者

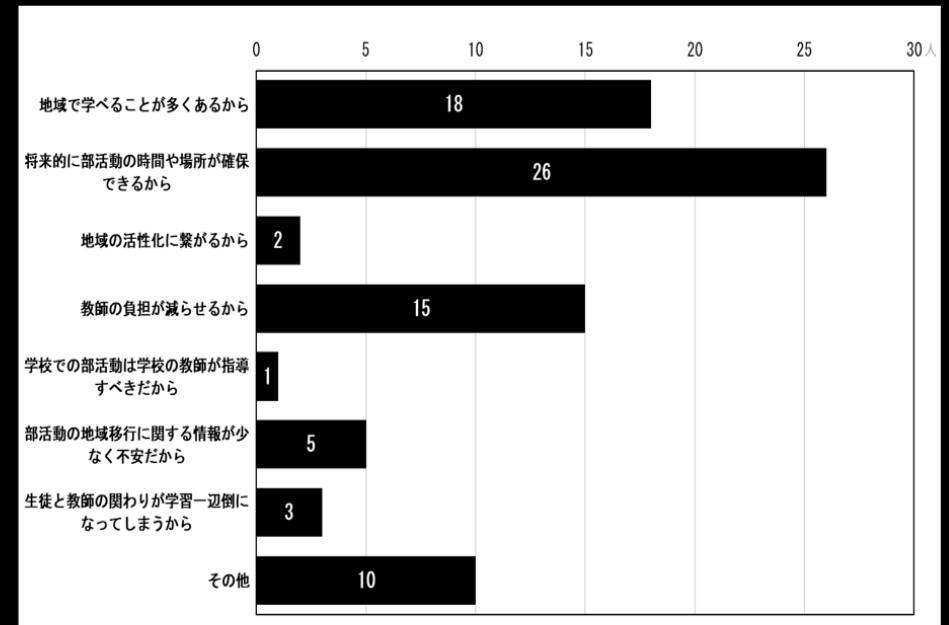
令和7年度 実証事業アンケート結果について

令和7年度 実証事業の成果（アンケート結果）

○ 実証事業の取り組みについて（理由）



生徒

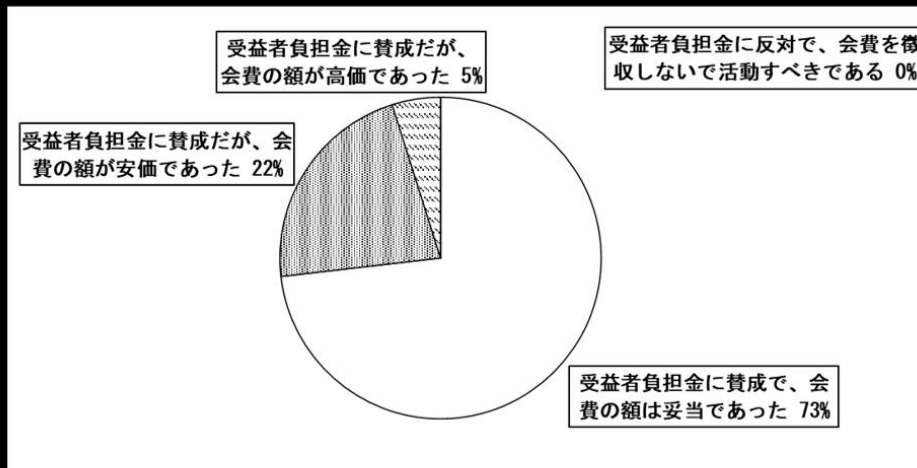


保護者

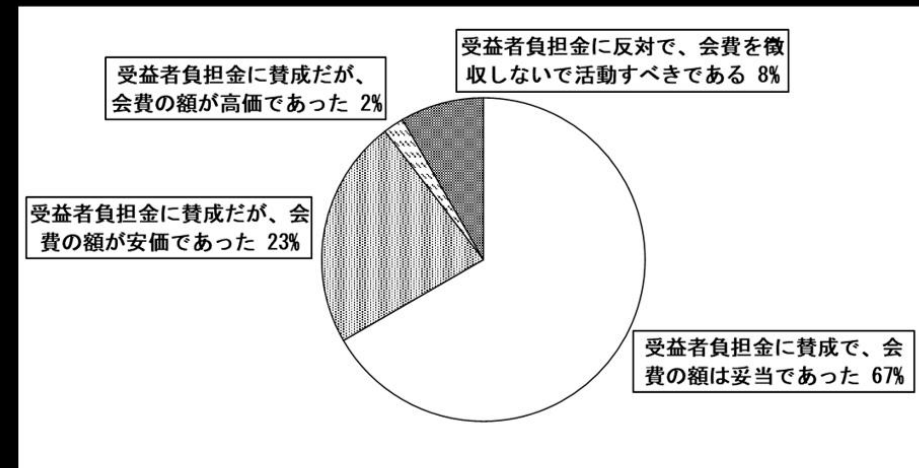
令和7年度 実証事業アンケート結果について

令和7年度 実証事業の成果（アンケート結果）

○ 受益者負担について



生徒

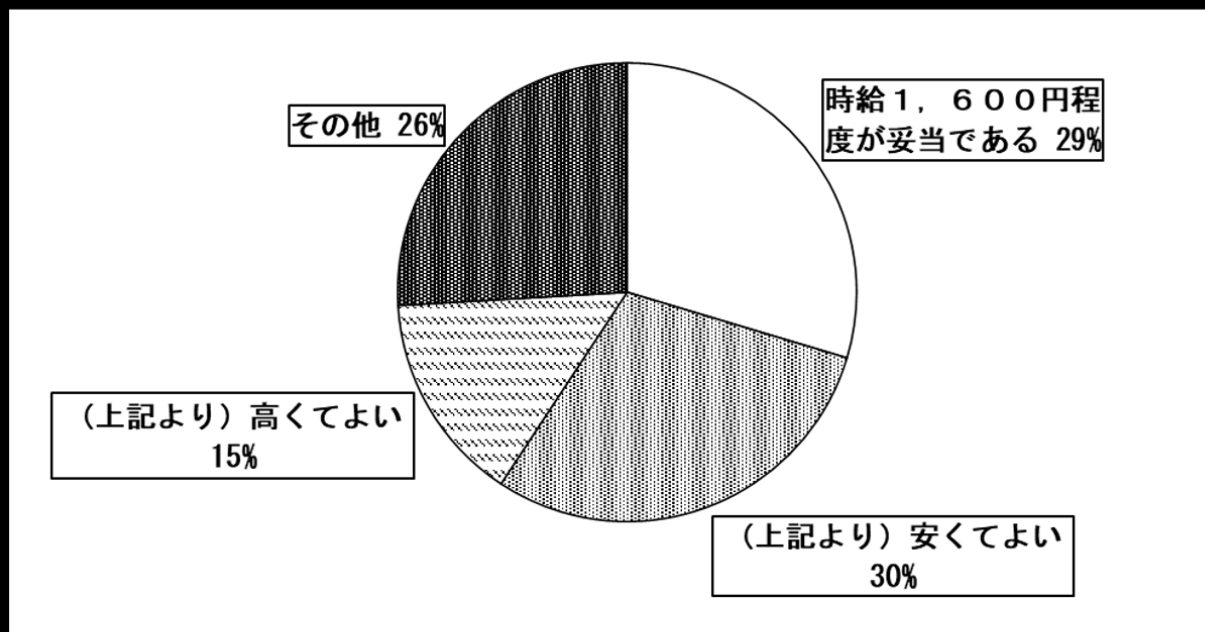


保護者

令和7年度 実証事業アンケート結果について

令和7年度 実証事業の成果（アンケート結果）

○ 報酬額について

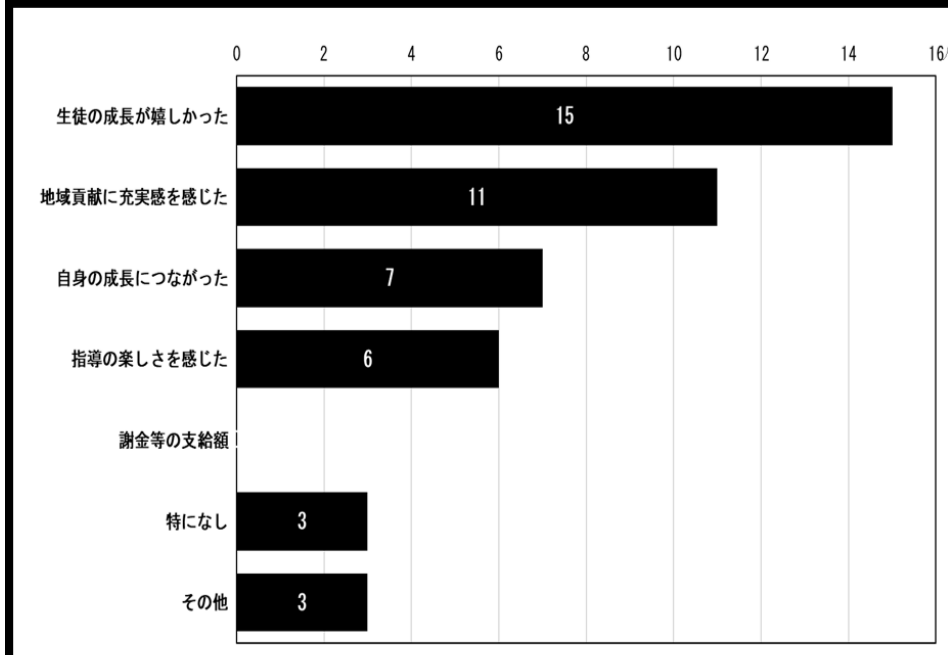


指導者

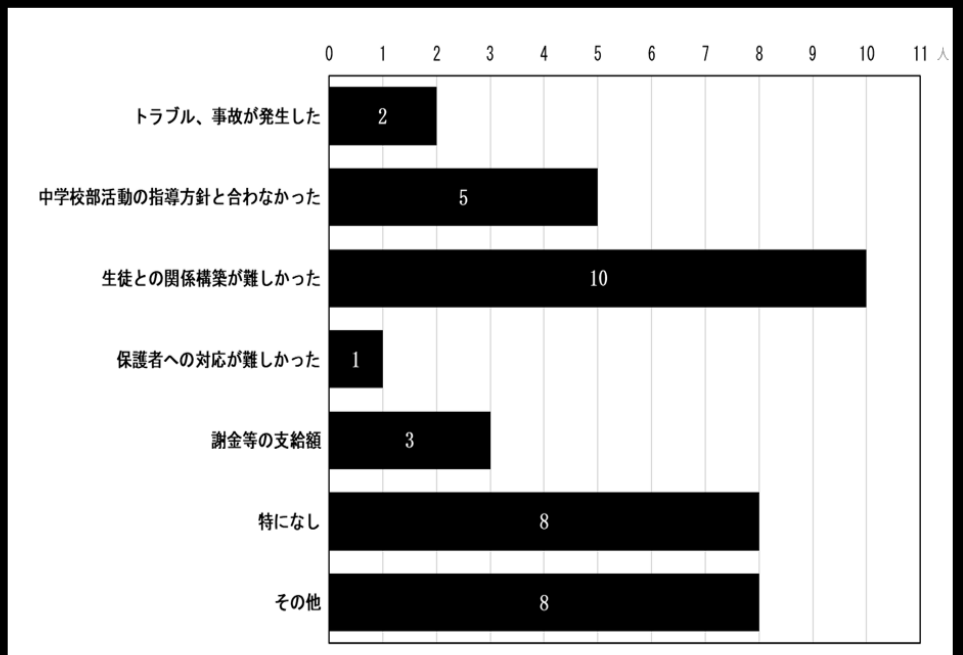
令和7年度 実証事業アンケート結果について

令和7年度 実証事業の成果（アンケート結果）

○ 指導してよかったこと



○ 指導してよくなかったこと

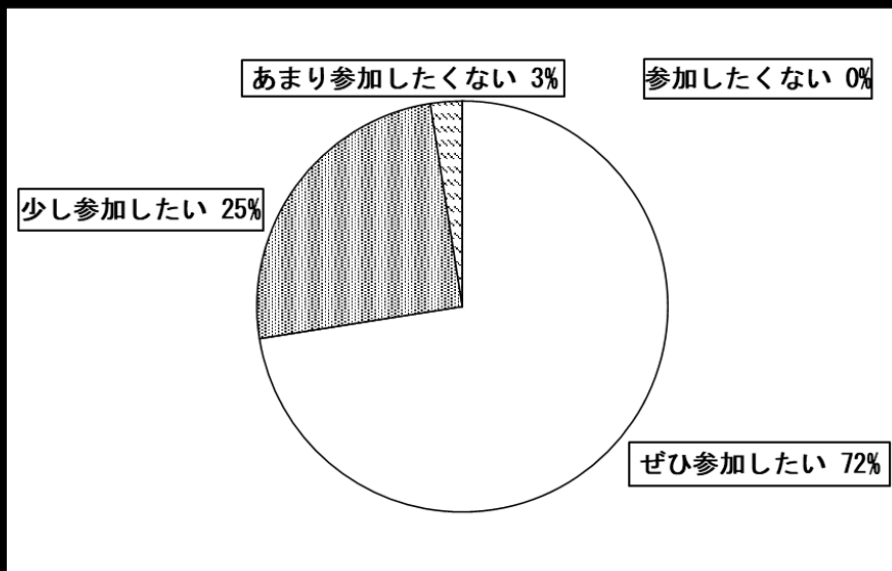


指導者

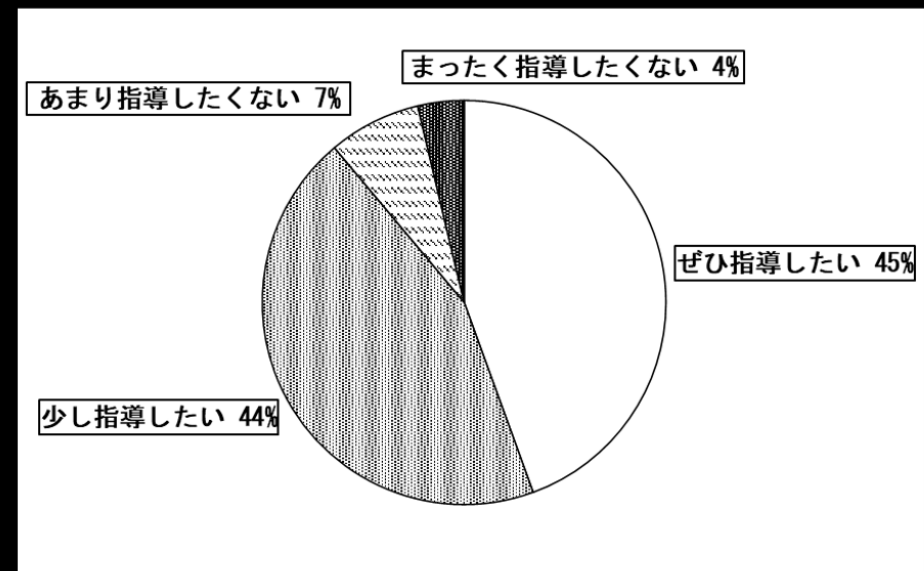
令和7年度 実証事業アンケート結果について

令和7年度 実証事業の成果（アンケート結果）

○ 来年度の実証事業の取り組みについて



生徒



指導者

2.実証内容と成果

参考資料



【Tag（アバンソ）サッカーの活動の様子】



【北名古屋ソフトテニスクラブの活動の様子】



【きたなごやジュニアスポーツクラブ バスケットボールの活動の様子】



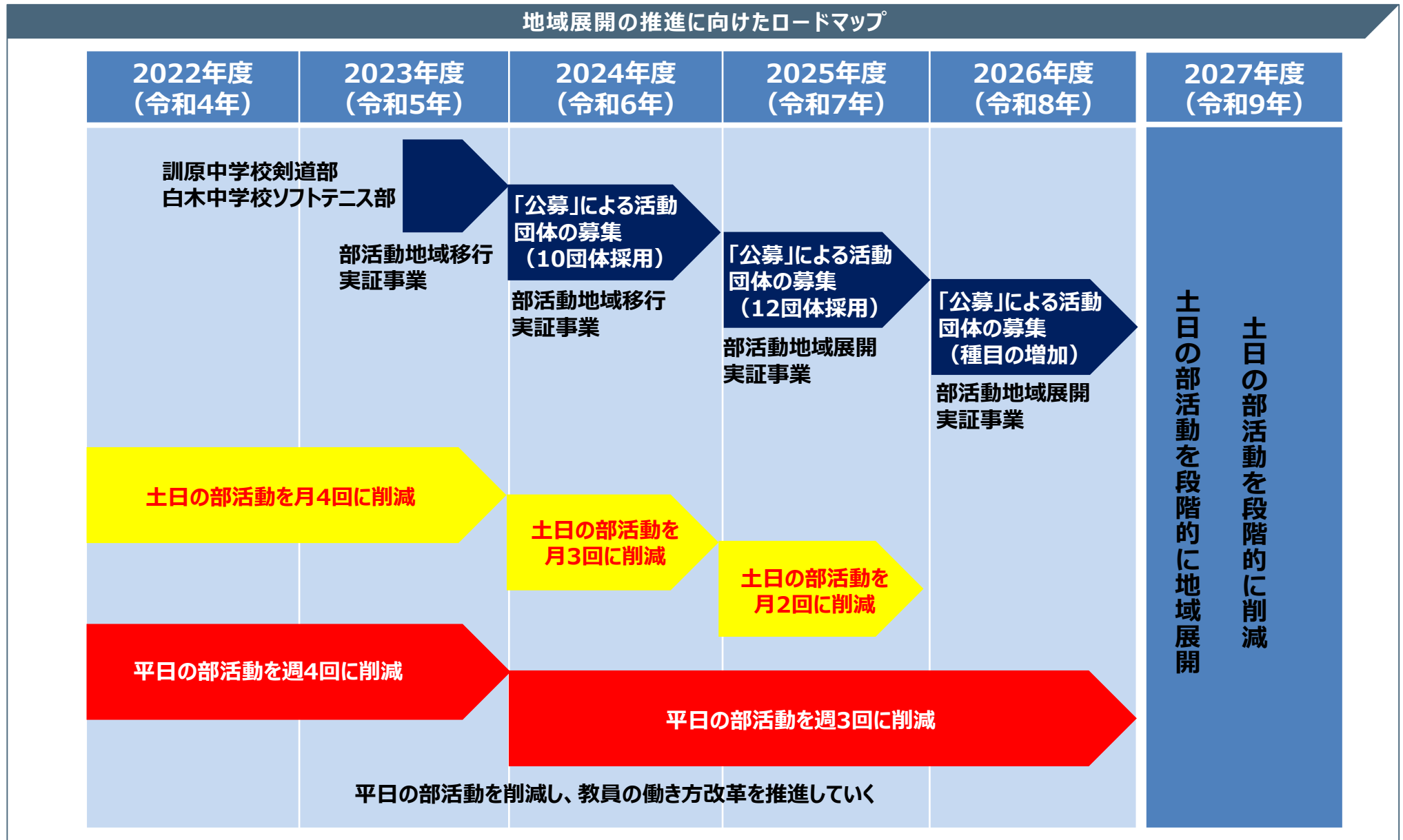
【中学校卓球クラブの活動の様子】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

「北名古屋市立中学校部活動指導員設置要綱」整備	「北名古屋市立中学校部活動指導サポーター派遣事業実施要綱」設置	「北名古屋市立中学校部活動地域移行実証事業」	「北名古屋市立中学校部活動地域移行実証事業」	「北名古屋市立中学校部活動地域展開実証事業」																				
・ 中学校に部活動指導員を登用できる環境を整えた。 ・ 平成30年度の配置 ＜運動部9人＞ ＜文化部2人＞ ・ 令和4年度の配置 ＜運動部16人＞ ＜文化部4人＞ ・ 学校長の監督下で、顧問の代わりに、単独で、実技指導、安全・傷害予防に関する指導大会・練習試合等への引率、用具・施設の点検・管理、部活動の管理運営（会計管理等）、保護者等への連絡、年間・月間指導計画の作成、生徒指導に係る対応、事故発生時の現場対応の業務が可能。	・ 部活動指導員は、全ての職務を依頼できる方とする。 ・ 部活動指導サポーターは、技術面のコーチ的な役割を担う。 <table><tr><th>区分</th><th>部活動指導員</th></tr><tr><td>雇用形態</td><td>雇用契約による「会計年度任用職員」</td></tr><tr><td>指導形態</td><td>単独での指導・大会引率が可能</td></tr><tr><td>賃金単価</td><td>時給制1,040円～1,150円</td></tr><tr><td>勤務時間</td><td>平日2時間程度 土日祝日3時間程度</td></tr></table> <table><tr><th>区分</th><th>部活動指導サポーター</th></tr><tr><td>雇用形態</td><td>派遣決定通知書により各校へ派遣</td></tr><tr><td>指導形態</td><td>単独での指導・大会引率はできない</td></tr><tr><td>賃金単価</td><td>謝礼 平日1回/1日：1,000円 土日・祝日1回/1日：2,000円</td></tr><tr><td>勤務時間</td><td>配置校と調整した指導時間</td></tr></table>	区分	部活動指導員	雇用形態	雇用契約による「会計年度任用職員」	指導形態	単独での指導・大会引率が可能	賃金単価	時給制1,040円～1,150円	勤務時間	平日2時間程度 土日祝日3時間程度	区分	部活動指導サポーター	雇用形態	派遣決定通知書により各校へ派遣	指導形態	単独での指導・大会引率はできない	賃金単価	謝礼 平日1回/1日：1,000円 土日・祝日1回/1日：2,000円	勤務時間	配置校と調整した指導時間	○「北名古屋市立訓原中学校部活動地域移行実証事業」 ・ 業務場所 北名古屋市立訓原中学校武道場 ・ 業務期間 平成5年10月1日～令和6年3月31日 ・ 活動日 毎週土曜日（月4回程度） ・ 実施団体 北名古屋市剣道連盟 ・ 対象部活動 訓原中学校剣道部（1、2生男女18人） ○「北名古屋市立白木中学校部活動地域移行実証事業」 ・ 業務場所 北名古屋市立白木中学校テニスコート場 ・ 業務期間 平成5年10月1日～令和6年3月31日 ・ 活動日 毎月第2、第4土曜日（月2～4回程度） ・ 実施団体 北名古屋ふれあいスポーツクラブ（白木・鴨田スポーツクラブ） ・ 対象部活動 白木中学校ソフトテニス部（1、2生男女48人）	○「北名古屋市立中学校部活動地域移行実証事業」 ・ 業務場所 北名古屋市立各中学校 運動場・体育館・武道場・音楽室 ・ 業務期間 平成6年6月1日～令和7年3月31日 ・ 活動日 土日曜日（月4～12回） ・ 実施団体、対象部活動 ① 北名古屋市剣道連盟（剣道） ② 東スポーツクラブ（剣道） ③ 一般社団法人アバンソ（サッカー） ④ きたなごやジュニアスポーツクラブ（バスケットボール） ⑤ 中学生卓球クラブ（卓球） ⑥ ウィンドオーケストラ（吹奏楽） ⑦ 北名古屋吹奏楽団YOUTH（吹奏楽） ⑧ 北名古屋ソフトテニスクラブ（ソフトテニス） ⑨ スタジオオルカバスケットボールクラブ（バスケットボール） ⑩ バスケットボールクラブ（バスケットボール）	○「北名古屋市立中学校部活動地域展開実証事業（スポーツクラブ）」 ・ 業務場所 北名古屋市立各中学校 運動場、体育館、武道場 ・ 業務期間 平成7年4月1日～令和8年3月31日 ・ 活動日 土日曜日（月1～2回） 月木曜日（月4～8回） ・ 実施団体、対象部活動 ① 北名古屋市剣道連盟（剣道） ② 東スポーツクラブ（剣道） ③ 一般社団法人アバンソ（サッカー） ④ きたなごやジュニアスポーツクラブ（バスケットボール） ⑤ 中学生卓球クラブ（卓球） ⑥ 北名古屋ソフトテニスクラブ（ソフトテニス） ⑦ スタジオオルカバスケットボールクラブ（バスケットボール） ⑧ 軟式野球クラブ（野球） ⑨ 中学生SKK卓球クラブ（卓球）
区分	部活動指導員																							
雇用形態	雇用契約による「会計年度任用職員」																							
指導形態	単独での指導・大会引率が可能																							
賃金単価	時給制1,040円～1,150円																							
勤務時間	平日2時間程度 土日祝日3時間程度																							
区分	部活動指導サポーター																							
雇用形態	派遣決定通知書により各校へ派遣																							
指導形態	単独での指導・大会引率はできない																							
賃金単価	謝礼 平日1回/1日：1,000円 土日・祝日1回/1日：2,000円																							
勤務時間	配置校と調整した指導時間																							

3.今後の方向性



令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県みよし市

自治体名：愛知県みよし市

担当課名：学校教育課

電話番号：0561-32-8026

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	32.19km ²
人口	61,288人
公立中学校数	4校
公立中学校生徒数	1,755人
部活動数 (運動部活動のみ)	46部活
地域クラブ活動数	29クラブ
市区町村の協議 会・検討会議等 の設置状況	設置済
市区町村の推進計 画・ガイドライン等の 策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

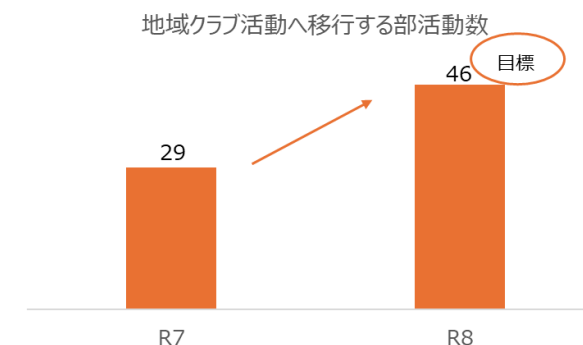
現在、当市の運動部活動は、市内4校で46の種目が活動している。

少子化に伴い、種目によっては、合同チームとして活動を行っている。

改革推進期間の3年間で、成績や勝敗にこだわらず、生徒自身が興味を持って取組める活動を第一に進める。同時に教職員の働き方改革の推進を目標とし地域展開を進める。

また、長年にわたって部活動は、学校教育の一環で運営するものという考えが生徒、保護者、地域に根付いている。今後、地域展開に当たり部活動が教育課程外のものであることを関係者が認識することが必要であり、同時に地域展開推進にあたって学校の教職員以外の地域内の指導者の掘り起こし、確保も同時に進めていかなければならない。

改革推進期間の最終年度である令和7年度は、これまでの地域展開の取組を継続しつつ、令和8年度から休日部活動を地域クラブへ完全に移行することを目指し、地域内指導者の確保のためのさらなる掘り起こしや関係団体との調整を進めるとともに、部活動改革検討委員会で今後の推進体制や地域クラブの運営体制について検討する。

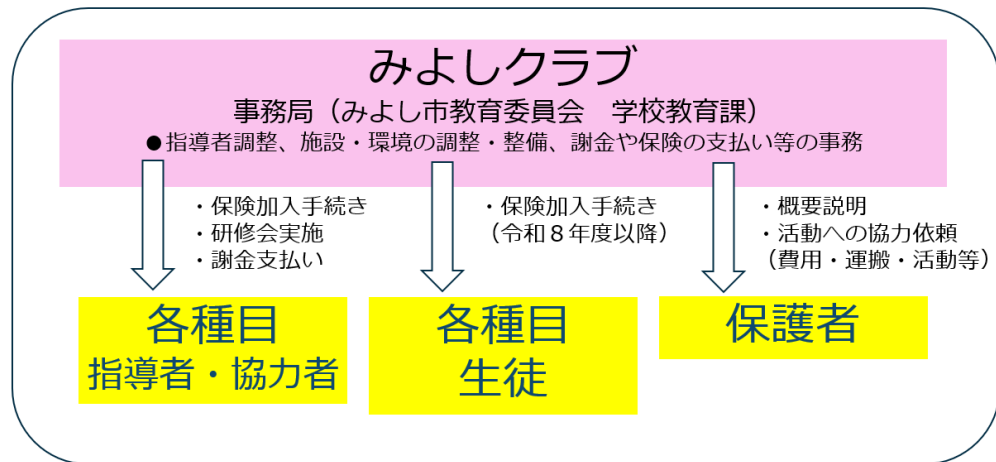


2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図

みよしクラブの形態について



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・ 学校教育課・・・部活動改革の主管、学校との調整・連携
- ・ スポーツ課・・・企業や団体との調整

◎首長部局

- ・ 人事課・・・任用関係手続、報酬の支払い

年間の事業スケジュール

令和7年5月～ 種目ごとに担当を決め、種目ごとの地域展開を進めていく

令和7年6月 第1回部活動改革検討委員会

令和7年10月 第2回部活動改革検討委員会

令和8年1月 第3回部活動改革検討委員会

通年 ・各種目にて、指導者と教員のハイブリッド方式で指導
・令和8年度の休日部活動完全移行に向けた準備

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		29クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	29クラブ（29部活動）	
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数	0クラブ	
全体の指導者数	約60人	全体の運営スタッフ数	4人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
みよしカヌークラブ	一般社団法人	カヌー	・平日 月4回 ・休日 月8回	平日 16:00～19:00 休日 9:00～12:00	1年生 28人 2年生 37人 3年生 24人	通年	約10人	14人 (内、兼務4人)	41,500円/年額	地域クラブ
みよしクラブ (柔道)	教育委員会	柔道	・休日 月4回	8:30～ 11:30	1年生 1人 2年生 6人 3年生 5人	通年	6人	6人 (内、兼務6人)	なし	中体連：部活動
みよしクラブ (ソフトテニス)	教育委員会	ソフトテニス	・休日 月4回	8:00～ 11:00	1年生 50人 2年生 57人 3年生 59人	通年	約20人	9人 (内、兼務9人)	なし	中体連：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 特になし

2.実証内容と成果

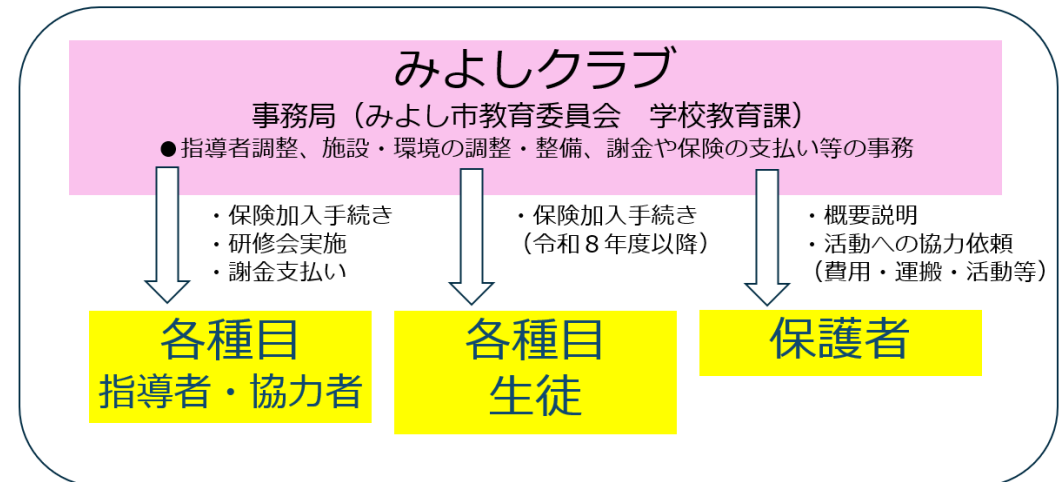
主な取組例

●地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、サッカー、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、卓球、剣道、柔道、弓道、カヌー
運営団体名	みよし市カヌー協会（カヌー） みよし市教育委員会（その他種目）
期間と日数	カヌー 平日 月4回程度、休日 月8回程度 その他種目 月4回程度
指導者の主な属性	社会人、大学生、教員
活動場所	みよし市内各中学校等
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	カヌー 41,500円/年額 その他種目 なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図

みよしクラブの形態について



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 事務局
 - 指導者調整、研修会実施
 - 施設・環境の調整・整備、謝金や保険の支払い等の事務
- 指導者・協力者 約60名
 - 生徒の指導

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 地域クラブ活動を実施する上で生じる課題を把握し、適切に解決するための地域クラブガイドラインを作成するため、また、地域クラブ運営上の課題等について協議するため、部活動改革検討委員会を3回開催した。
- また、事業計画書で計画していたエリアコーディネーターは配置できなかったため、種目ごとに教育委員会職員が担当を持ち、活動状況の把握や運営及び活動上の課題の整理、競技団体等との調整を行った。

取組の成果

- 地域の指導者や競技団体、教職員等と地域クラブ移行後の指導や管理、平日部活動との連携等について調整を行うことにより、地域クラブとして活動可能なクラブ数が、今年度の29クラブから来年度の37クラブ（見込）に増加した。
- 参加者の出欠、活動の実施報告等のためにコミュニケーションアプリを試用しすることで、今後の実施体制について確認することができた。

今後の取組における課題

- 地域の指導者の確保等の課題により、まだ地域クラブとしての活動が可能となっていない部活動については、引き続き地域の指導者や競技団体、教職員等と調整を行っていく必要がある。
- 地域クラブとして活動可能なクラブも、今後の活動を持続可能なものとするためには、引き続き運営及び実施体制の検討を継続する必要がある。

課題への対応方針

- 持続可能な活動の運営及び実施体制を構築するため、来年度以降も、引き続き部活動改革検討委員会の開催や、種目ごとに地域の指導者、競技団体等、平日部活動の顧問、地域クラブ指導者との情報交換、課題の共有、調整等を行う。
- より参加しやすい地域クラブ活動となるよう、生徒や保護者のニーズも把握しながら、今後の運営及び実施体制や内容について検討を継続する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- ・ クラブ指導者・協力者は事務局（教育委員会）担当と面談し、採用した。
- ・ 年2回（夏季・冬季）に実施を予定していたクラブ指導者・協力者研修会は、令和8年度からの休日部活動の地域クラブ完全移行に備え、実証事業期間終了後の令和8年3月に実施することとした。
- ・ 県の人材バンクを活用する予定であったが、希望する指導者を見つけることができなかった。代わりに、地域の指導者や保護者に協力を呼び掛けた。
- ・ 部活動顧問、部活動指導員とクラブ・指導者がそれぞれの活動内容の情報提供を定期的に行った。

取組の成果

- ・ 地域の指導者や保護者への協力の呼び掛け等により、指導者及び協力者の人数が昨年度の約40人より20人程度増加した。
- ・ クラブ指導者及び協力者は事務局（教育委員会）担当と面談し採用したため、事前に地域クラブ活動の趣旨の説明や暴力・ハラスメント等の禁止を遵守させることができた。

今後の取組における課題

- ・ 地域クラブとして活動可能なクラブも、今後の活動を持続可能なものとするためには、引き続き指導者及び協力者の質・量を確保していく必要がある。
- ・ 指導者の質を確保するためには研修の実施が不可欠であるが、指定する日時に受講することが困難な場合もあるため、動画等のツールを用いる等、方法について検討する必要がある。

課題への対応方針

- ・ 来年度以降も、引き続き地域の指導者や保護者に協力を呼び掛け、指導者及び協力者の量を確保するとともに、研修を定期的の実施して質についても同様に確保していく。
- ・ 研修の内容や開催方法についても、他市町村の事例を参考にしながら検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 指導者確保や大会運営等の協議を円滑に進めるため、競技団体ミーティングを開催し、地域クラブの指導者・協力者も参加して地域クラブ実施状況や指導者確保状況等を共有した。
- スポーツ推進委員代表に部活動改革検討委員会の委員として出席いただき、スポーツ推進委員の立場から、関係団体等との連携等について意見をいただいた。

取組の成果

- 地域の指導者や競技団体、教職員等との調整により、地域クラブとして活動可能なクラブ数が、今年度の29クラブから来年度の37クラブ（見込）に増加した。
- スポーツ推進委員代表やスポーツ教会代表、総合型地域スポーツクラブなど関係団体に部活動改革検討委員会の委員として出席いただき、情報・課題の共有や意見交換をすることができた。

今後の取組における課題

- 地域クラブとして活動可能なクラブも、今後の活動を持続可能なものとするためには、引き続き指導者及び協力者の質・量を確保していく必要があるとともに、今後の運営体制についても、より安定的なものとしていく必要がある。
- 地域の指導者の確保等の課題により、まだ地域クラブとしての活動が可能となっていない部活動については、引き続き関係団体と調整を行っていく必要がある。

課題への対応方針

- 来年度以降も、引き続き競技団体ミーティングを開催し、地域クラブ実施状況や指導者確保状況等を共有し、指導者及び協力者の質・量を確保するとともに、今後の運営体制についても検討していく。
- 地域の指導者の確保等の課題により、地域クラブとしての活動が可能となっていない部活動について、教職員が働き方改革の内容と両立できる範囲内で積極的に関わるることについて検討し、早急に地域クラブ活動としての活動に移行できるようにする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 既存の学校にある部活動を原則として地域展開を進めたが、一つの形にこだわらず、それぞれの種目の展開の仕方でも進めた。
- 既存の学校にある部活動単位で地域展開が困難な種目については、部活動顧問、競技団体、地域の指導者・協力者が調整し、合同で活動する形態等の面的・広域的な取組を検討した。

取組の成果

- カヌーでは、一般社団法人カヌー協会が市内4校全ての生徒が参加可能な活動を実施した。
- ソフトテニスでは、普段は既存の部活動を単位とした地域クラブ活動を実施したが、定期的に合同で活動を実施した。
- 野球や柔道では、普段の部活動も合同で活動することがあることから、令和8年度からは複数の学校で合同で活動する地域クラブ活動を実施することとした。

今後の取組における課題

- 剣道では、市内にある3つの道場の稽古日に生徒の都合に応じて参加する形態を検討したが、それぞれの道場での指導方法や活動方針が異なり、計画通りに進まなかった。
- 地域の指導者の確保等の課題により、まだ地域クラブとしての活動が可能となっていない部活動についても、面的・広域的な取組を検討したが、調整ができずに進まなかった。

課題への対応方針

- 来年度以降も、引き続き地域の指導者や競技団体とのミーティングを開催し、地域クラブ実施状況や指導者確保状況等を共有し、指導者及び協力者の質・量を確保するとともに、今後の運営体制についても検討していく。
- 地域の指導者の確保等の課題により、地域クラブとしての活動が可能となっていない部活動について、面的・広域的な取組について調整ができなかった点を整理し、早急に地域クラブ活動としての活動に移行できるようにする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

- ・ 大会前に活動回数を増やす等調整を行い、内容の充実を図った。
- ・ 合同で活動する地域クラブ活動で大会に参加した。
- ・ 既存の学校にある部活動を原則として地域展開を進めたため、生徒の希望に応じた種目への活動参加には至らなかった。
- ・ みよしクラブについてホームページで情報発信した。

取組の成果

- ・ 大会前に活動回数を増やした分、活動を休養する日を設ける等、内容にメリハリをつけることで、生徒が参加しやすい地域クラブ活動を実施した。
- ・ 野球や柔道等、合同で活動する地域クラブ活動で大会に参加した一方、生徒の希望に応じた種目への活動参加は至らなかった。
- ・ 地域展開の状況についての情報発信を行うことで、生徒や保護者が今後の部活動についての不安を覚えることがないようにした。

今後の取組における課題

- ・ 生徒の希望に応じた種目の活動に参加できることが、スポーツ活動機会の確保という点においては重要な視点であるものの、地域クラブの運営体制立ち上げに主眼を置いている現況においては、まずは既存の学校にある部活動を原則として地域展開を進めるほかなかった。

課題への対応方針

- ・ 今後の運営体制について引き続き検討していく中で、既存の学校にある部活動を原則とすることが生徒のニーズに合っているのかという点を再度確認しながら、生徒の希望に応じた種目への活動参加も含め、地域の指導者・協力者や競技団体、教職員と連携・調整をしながら内容の充実を図っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

- 地域クラブ活動における受益者負担や参加費用負担の支援等について、次年度以降の取扱いも含めて教育委員会内で検討した。
- 検討に当たっては、国からの通知や県が開催する情報交換会に参加するなどして提供された受益者負担の考え方や他市町村の事例等を参考にした。

取組の成果

- 指導者・協力者の確保が難しく、地域移行できたクラブ活動が当初計画よりも想定以上に少なく、地域移行できなかった部活動との公平性を保つ観点から、令和7年度は受益者負担を導入しなかったため、参加費用負担の支援等は実施しなかった。
- 次年度以降についても、現時点の運営及び実施体制から、受益者負担については当面、保険料等の地域クラブ活動に係る経費の一部とした。

今後の取組における課題

- 地域クラブとして今後の活動を持続可能なものとするためには、さらなる受益者負担を導入する必要がある一方、クラブごとに活動頻度や内容も異なり、費用負担の在り方について引き続き検討していく必要がある。
- 困窮世帯への支援の実施についても、費用負担の在り方に合わせて引き続き検討していく必要がある。

課題への対応方針

- 令和8年度は保険料と連絡用アプリ利用料を参加者負担とすることとし、その他の運営に係る費用に対する受益者負担は、困窮世帯への支援を含め、今後の運営体制と合わせて検討していく。
- 受益者負担の導入に当たっては、保護者に対し情報の提供と意見のヒアリングを行う等丁寧に対応する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- ・ 地域クラブ活動の実施にあたっての学校施設の利用について、学校と調整を行った。
- ・ 地域クラブ活動は、原則として学校施設の利用を主とし、施設の利用にあたっては、優先的に地域クラブが利用できるようにした。
- ・ 活動場所が学校内の種目については、セキュリティ管理について検討を進めた。

取組の成果

- ・ 本年度の地域クラブ活動（カヌー以外）の大半を学校施設を利用して実施した。
- ・ 通常の学校施設開放と同様の対応であれば、現状以上のセキュリティ管理は必要ないと確認した。
- ・ 既存の学校にある部活動を原則として地域展開を進めたため、用具等は原則学校備品等を利用して活動を実施した。

今後の取組における課題

- ・ 学校施設の利用にあたっては、現状では通常の学校施設開放と同様の対応（利用日ごとに学校から鍵を貸出し）としたが、学校の事務負担軽減のためには、今後、電子ロックの導入等を行うことが望ましい。
- ・ 用具等は学校備品等を利用しているが、地域クラブ活動で利用するボール等の消耗品に係る費用は、今後の予算化を検討する必要がある。

課題への対応方針

- ・ 今後の運営体制について引き続き検討していく中で、合わせて学校施設のセキュリティ管理や電子ロック、予約システム等の施設面の整備についても検討していく。
- ・ 地域クラブ活動で利用する消耗品に係る費用について把握し、予算化について受益者負担の在り方と合わせて検討していく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

みよし市の地域展開の目標として

- ・ 生徒の自主性を育み、体力や技能の向上を目指す
活 動機会の保障
- ・ 生徒の興味関心に応じた魅力ある活動創設
- ・ 地域コミュニティの活性化

の3つを掲げている。特に③の地域コミュニティの活性化こそが地域展開を進めていく上で必要不可欠であると感じている。人材確保の際、みよし市の子どもたちをみよし市の大人（みよし市に関わりのある大人）で育てていくことを柱としたことは、地域展開が他人事ではないということのみよし市に住む（みよし市に関わりのある）人々に認識してもらうきっかけとなっていると考える。多くの協力により、地域展開は確実に進んでおり、来年度からは休日の部活動を地域クラブの活動に完全移行する。今後も、子どもたちにとってどのような地域展開が望ましいのかを第一に考えて進めていきたいと考える。

●成果の評価

- ・ 指導者の量的・質的確保については、みよし市の子どもたちをみよし市の大人（みよし市に関わりのある大人）で育てていくことを柱として進めたことで、活動によって起こる人的な問題の回避ができたと考える。
- ・ 関係団体・分野との連携強化については、部活動改革検討委員会やそれぞれの競技団体ミーティングを開催し、情報・課題の共有や意見交換を行うことができた。
- ・ 面的・広域的な取組については、既存の学校にある部活動を原則として地域展開を進めつつも、一部の種目においては、市内4校全ての生徒が参加可能な活動を実施したり、定期的に合同で活動する等、柔軟な形で地域クラブの活動を行うことができた。

●今後に向けて

- ・ 運営面において、カヌー以外の事務局を教育委員会としていることが大きな負担となっており、今後どのようにしていくかを考えていく必要がある。
- ・ 持続可能な活動にしていくために、運営体制の構築、指導者の確保等様々な課題の検討を今後も続けていく。
- ・ 休日の地域展開の先にある平日の地域展開についても見据えたうえで検討していく。

2.実証内容と成果②

参考資料



【カヌーの活動の様子】



【バレーボールの活動の様子】



【弓道の活動の様子】



【卓球の活動の様子】

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和3年

協議会設置、
検討開始

受け皿団体等
の検討・交渉

令和5年

指導者の選定、
拠点校の選定

学校現場との
調整
生徒、保護者へ
の説明

令和6年

地域クラブ活動
の開始

令和7年

地域クラブ活動
の拡大

2022 (R4)

2023 (R5)

2024 (R6)

2025 (R7) ~

学校

中学校区地域協働本
部設置

地域

教師の兼職兼業調査・
調整
地域部活動指導員の発掘

市

部活動検討委員会を実施

部活動の地域移行化

実施可能な部活動で試行実施

全ての部活動で試行実施

国

地方大会の在り方の整理

部活動指導員の配置支援

地域部活動・合同部活動を推進・実践研究

生徒にとって望ましい合理的な地方大会の推進

部活動改革の全国展開
・休日の部活動の段階的な地域移行

全
て
の
部
活
動
で
完
全
実
施

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

みよしクラブ移行に向けてのスケジュール					
	R5	R6	R7	R8	R9
名称	学校部活動		みよしクラブ (多くの部活動で取り組む予定)		
位置づけ	学校教育の一環			生涯学習 の位置づけ	
運営主体（休日）	学校部活動		みよしクラブ (多くの部活動で取り組む予定)		
指導者	教員・部活動指導員・ 外部指導者		みよしクラブ指導者 (+ 教員)		みよしクラブ指導者 (教員は兼職・兼業)
運営主体（平日）	学校部活動			みよしクラブ	

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県豊山町

自治体名：愛知県豊山町

担当課名：教育委員会事務局生涯学習課

電話番号：0568-28-0396

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	6.18km ²
人口	15,973人
公立中学校数	1校
公立中学校生徒数	496人
部活動数 (運動部活動のみ)	9部活
地域クラブ活動数	1クラブ
市区町村の協議 会・検討会議等 の設置状況	設置済
市区町村の推進計 画・ガイドライン等の 策定状況	未策定

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

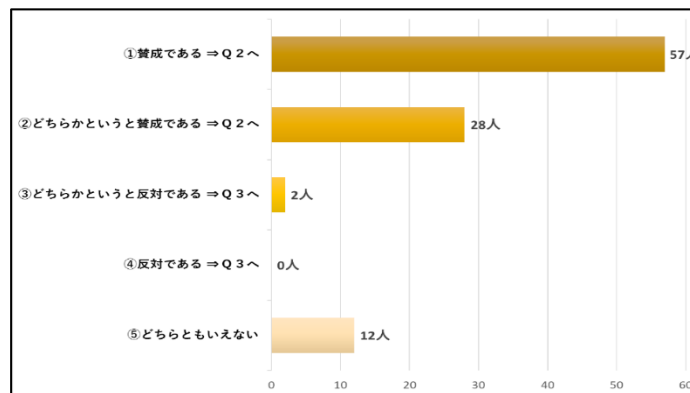
現在、本町にある中学校は1校のみであり、運動部活動は、サッカー、野球、女子バスケットボール、ソフトボール、男女バレーボール、軟式テニス、男女卓球の7種目9クラブが活動している。「豊山町部活動指導ガイドライン」に沿って実施しており、入部は希望制だが、全校生徒の約95%がいずれかの部活動に所属している。

また、野球部に関しては、土日のどちらかを本町スポーツ少年団が中等部として野球部員のみを対象に活動を実施している。部活動の顧問との連携もできており、本町における地域移行のモデルケースといえる。

課題としては、受け皿として同じ種目の団体がないものがあることや、指導者不足があげられる。本町生涯学習課が小学生向けに土曜日の講座として運営している総合型地域スポーツ・文化クラブ「わくわくらぶ」を受け皿にという話も生涯学習推進審議会であがっているが、種目が中学校部活動とは異なるため、なかなか進んでいない。

また、令和7年度に実施したプロジェクトチームにおいて、令和8年度以降段階的に部活動を縮小していくことが決まった。

Q. 休日の部活動を地域が担うことについて、どう思われますか。

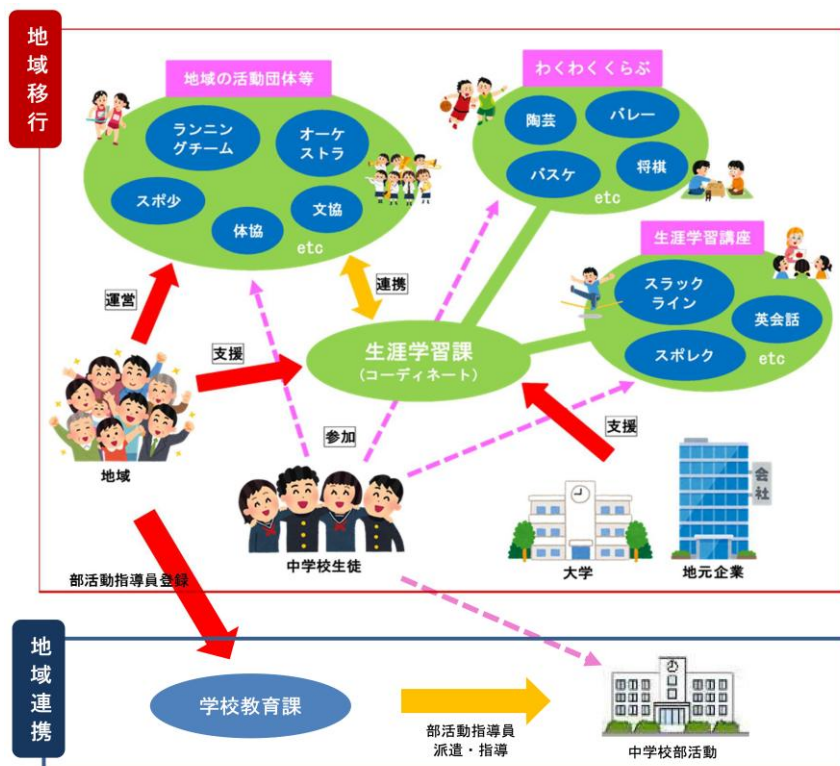


【調査対象者】
町内小中学校教師 105人対象
アンケート回答者 99人
(回答率 94.3%)

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

生涯学習課：地域移行における受け皿の整備

学校教育課：中学校における方針の決定

地域連携における指導員の派遣・指導

年間の事業スケジュール

令和7年5月 ～翌3月	練習会
令和7年7月	第1回プロジェクトチーム
令和7年9月	選手選考記録会
令和7年11月	大会下見会
令和7年11月	第2回プロジェクトチーム
令和7年12月	大会本番
令和8年2月	第3回プロジェクトチーム
令和8年3月	生涯学習推進審議会

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		1クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		0クラブ（0部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		1クラブ
全体の指導者数	5人	全体の運営スタッフ数	5人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
ランニングスクール for 愛知駅伝	地方自治体	陸上（長距離走）	6月～8月、 12月～翌3月： 週1回 9月～12月： 週2回	19:00 ～ 21:00	未就学児から60歳以上まで幅広く	5～翌3月	5人	5人 (内、兼務 0人)	無料	愛知駅伝、各自で目標を持って希望の大会に参加

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 体験は随時受付している。イベントではないが、代表選手を決める選考会や大会本番は、一般の参加者にも観戦に来てもらい、応援やモチベーションアップに繋がっている。

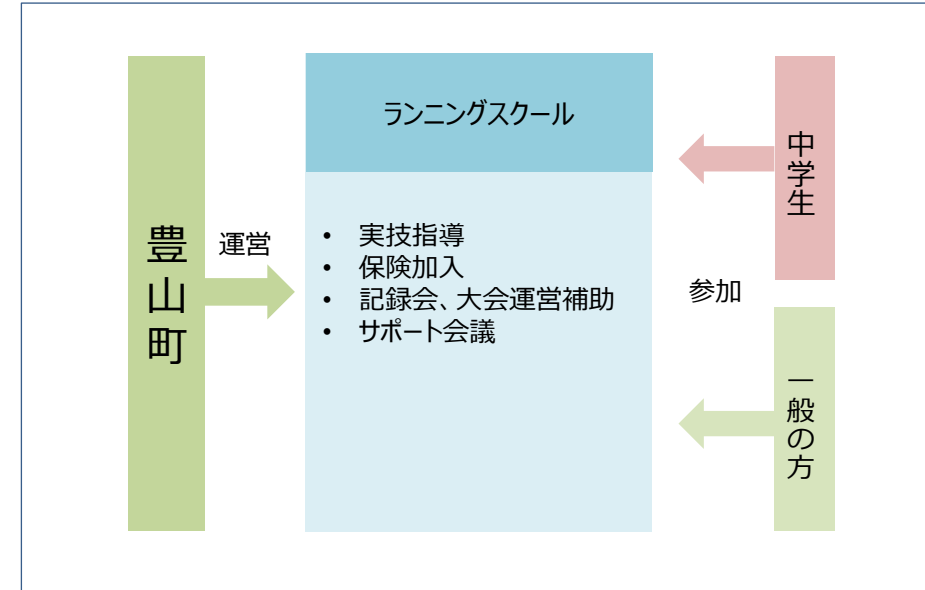
2.実証内容と成果

主な取組例

●ランニングスクール 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上（長距離走）
運営団体名	豊山町教育委員会事務局 生涯学習課
期間と日数	6月～8月、12月～翌3月：週1回 9月～11月：週2回
指導者の主な属性	町内で活動するランニングチーム （指導者保持者）
活動場所	豊山グランド
主な移動手段	自転車、徒歩
1人あたりの参加会費等 （年額）	無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 子ども1人あたり：800円/年 大人1人あたり：1,850円/年 ※参加者の自己負担なし

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 監督 1名
役割：指導・運営の統括を行う
- コーチ 1名
役割：技術指導を行う
- サブコーチ 3名
役割：技術指導及びコーチの補佐を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

- 毎年開催している愛知駅伝に出場する代表選手向けの練習会を、広く一般の方が参加できるようにリニューアルした。
- 参加者は未就学児から60歳以上と幅広く、「楽しく走りたい」「長距離走での正しい走り方を知りたい」「健康のために」と様々な理由で参加している。
- 町内の中学校には陸上部がないため、その受け皿としての機能も果たしている。

活動の詳細

参加人数	56人	指導者数	5人
属性	町が運営する講座		
具体的な内容	愛知県内の全市町村が参加し、12月に開催される「愛知駅伝」に向けた練習会について、例年は大会に出場する選手のみを対象に実施していたが、町民が誰でも参加できるようにランニングスクールとして実施した。		
子供の声	● 団結力が深まってとても良かった。 ● もっとたくさん走りたい。 ● 沢山のひととスポーツを通してつながることができて嬉しかった。 ● 初めての参加でわからないこともたくさんあったけど楽しかったいい経験になった。		
関係者の声	● 幅広い年代の方達と練習会での交流ができ、親子での参加も見られて、お互い高め合っの練習が出来た。 ● 皆の距離が近く、和やかなムードが良い所だと感じています。 ● 来年度はレベル別でコースを分けて実施したい。		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組の成果

- 保護者も一緒に参画するスポーツ活動の取組
 - ・ 保護者が、生徒と一緒にスポーツを楽しみ、生徒に教え、運営を手伝う等、地域スポーツクラブ活動の運営に参画した。
- 世代間交流に関する取組
 - ・ 右表の通り、高校生や大学生、社会人等も多く参加しており、合同で練習を行った。
- 学びの循環
 - ・ この練習会に参加した子供たちが技術を磨き、大人になり次の世代の子供たちを教えるといった学びの循環を目指す。

今後の取組における課題

- ① 中学生の参加者が少ない。
- ② 年齢に関係なく参加しているため、参加者一人ひとりのレベルに合わせた練習をするのが難しい。

課題への対応方針

- ① 令和8年度以降、部活動が段階的に縮小していく予定である。それに伴い、生徒や保護者に地域移行や地域スポーツクラブ活動について丁寧に説明していく。
- ② 令和8年度は、年齢やレベルにあわせて時間帯を分けて開催する予定である。

○年齢区分別参加者一覧

区分	性別	年齢
未就学	男	0
	女	1
小学生	男	10
	女	4
中学生	男	4
	女	4
高校生	男	3
	女	4
大学生	男	1
	女	1
一般	男	13
	女	11
合計		56

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

中学生の参加者は想定よりも少なかったが、他の世代で多くの方が参加してくれたことにより、部活動の地域移行による「世代間交流」や「学びの循環」におけるモデルケースになっている。また、参加者の中から、来年度は指導者として関わりたいという方も出てきている。

●成果の評価

アンケート等は実施していないが、「楽しかった」という声や「今後も続けてほしい」という話を聞いている。また、愛知駅伝への参加（選手以外は応援）であったり、各個人で目標としている大会（名古屋ウィメンズマラソン等）への参加も確認できており、概ね良好であったと評価する。また、指導者から、来年度以降も継続して関わっていききたいという声ももらっている。

●今後に向けて

来年度以降も同様の取組を実施する予定である。来年度からは段階的に部活動の回数を減らしていくことが決まっているため、それに合わせて生徒・保護者への周知していきたい。また、別の種目や文化系の種目にも同じような取組を拡大していくことも検討する。

2.実証内容と成果②

参考資料



【練習風景①】



【練習風景②】



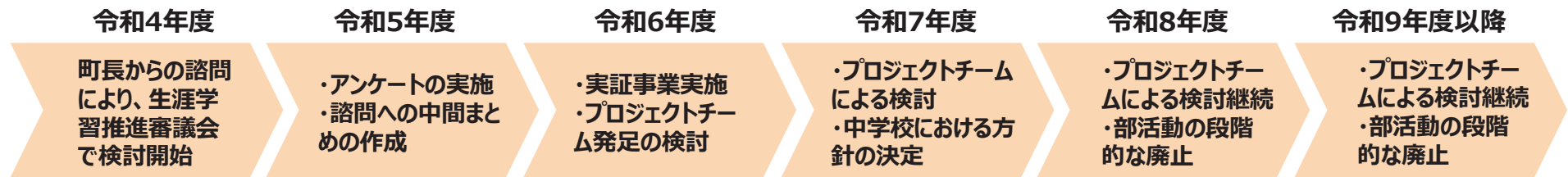
【選手選考記録会】



【大会当日】

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、町教委（学校教育課、生涯学習課）

体育協会、スポーツ少年団、競技団体

経過

令和4年度より生涯学習推進審議会で「部活動の地域移行について」検討を開始した。令和5年度末にかけて、課題の洗い出し、受け皿や指導者の検討をし、町長からの諮問への「中間まとめ」を作成した。

また、令和5年度に、教職員・小中学校生徒・保護者向けのアンケートを実施した。

実施内容

令和7年度は、プロジェクトチームを始動し、令和8年度以降の方針や、各クラブに受け皿として中学生の受け入れ可能かどうかの調整等を実施した。

実施にあたって生じた課題

昨年度と同様であるが、生涯学習推進審議会で検討している受け皿と、中学校における部活動の種目に相違があること、また、中学校における方針が定まらない中での実証事業の実施だったため、思ったよりも中学生の参加者が少なかった。

今後の展開

令和8年度からは、休日平日ともに部活動の活動日を段階的に減らすこととなった。

令和7年度まで：休日は月1回休み、平日は木曜が休み

令和8年度：休日は月2回休み、平日は月木が休み

また、令和9年度以降も段階的に活動日を減らしていき、最終的に令和13年度までに地域展開を完了させる予定である。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

【これまでの経緯】

○ 令和4年8月31日 諮問「部活動の地域移行について」

中学校の部活動の地域移行を中心課題として、本町における生涯学習体系の再編も視野に入れ、生徒の休日におけるスポーツ・文化活動の機会の確保について、生涯学習推進審議会に意見を求めた。

○ 審議経過

- ・ 第1回 令和4年 8月31日 諮問
- ・ 第2回 令和5年 3月20日 国・県の動向の確認
- ・ 第3回 令和5年 9月25日 町の資源の整理
- ・ 今後の方向性の検討
- ・ 第4回 令和6年 2月27日 アンケート調査結果の報告
- ・ 第5回 令和6年 3月28日 「中間まとめ」
- ・ 第6回 令和6年 9月27日 プロジェクトチームについて
- ・ 第7回 令和8年 3月23日 令和8年度以降の方針について

○ 「中間まとめ」における基本的な考え方

- ① 生徒たちの活動環境の充実
- ② 休日からの段階的な移行
- ③ 学校における「働き方の改革」の推進
- ④ 課題とその対応の洗い出し

【今後の方針・方向性】

- ・ 国の方針及び本町の「中間まとめ」に沿って、部活動の地域移行を進める。
- ・ 令和8年度から段階的に部活動を縮小していくこととなった。

【当面の対応（案）】

- ・ 生徒・保護者への説明（令和8年度）

○ 個別具体的な事項

- ・ 関係諸団体等への周知方法
- ・ 関連諸制度の確認と動向
（学習指導要領改訂、高校入試制度、大会の在り方等）
- ・ 指導者関係
（教職員の兼職兼業、部活動指導者等）
- ・ 必要な財源の確保
（人件費、施設使用料、受益者負担等）
- ・ 地域資源 他